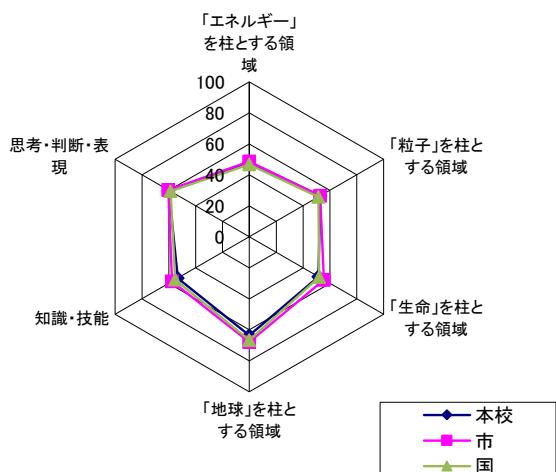


宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、国と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	48.1	48.6	46.7
	「粒子」を柱とする領域	52.8	52.8	51.4
	「生命」を柱とする領域	51.5	55.5	52.0
	「地球」を柱とする領域	63.6	67.9	66.7
観点	知識・技能	53.3	57.5	55.3
	思考・判断・表現	60.0	60.4	58.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、48.1%と全国の正答率よりも2ポイント上回っている。 ○アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか磁石に引き付けられるか、それぞれの性質について答える問題では、正答率が16.5%で全国よりも6ポイント上回っている。 	実験で学んだ知識と身近な事象や自然現象を関連づけたり、授業展開において単元の系統性をもたせたりすることで、考える機会を増やし、学んだ知識が自己の生活と身近なものと感じられるようにする。
「粒子」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、52.8%と全国の正答率よりも1ポイント上回っている。 ○海面水位の上昇について答える問題の正答率は、74.8%と全国の正答率よりも9ポイント上回っている。 ●水の結露について答える問題の正答率は、48.5%と全国の正答率よりも9ポイント下回っている。 	なぜそのような現象が起きるのかという問題から考えられる予想までの学びの過程を特に大切にしながら授業を開発することで、自己の考え方と実際の現象との差異点を整理させ、論理的に現象を捉えられるようにする。
「生命」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、51.5%と全国の正答率と同程度。 ●顕微鏡の操作について答える問題の正答率は、35.9%と全国の正答率よりも10ポイント下回っている。 	顕微鏡だけでなくその他の実験機器を実際に扱いながら、操作手順や安全な取り扱い方について体験的に学ぶ機会を増やす。
「地球」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、63.6%で全国の正答率よりも3ポイント下回っている。 ●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて答える問題の正答率は、51.5%と全国の正答率よりも9ポイント下回っている。 	実験の結果をもとに考察する場面を積極的に設け、考察の捉え方や表記の仕方などの基礎を学び、考察を書く経験を増やす。